

# みんなを支え、にぎわいのあるまちへ

## 市内の公共交通

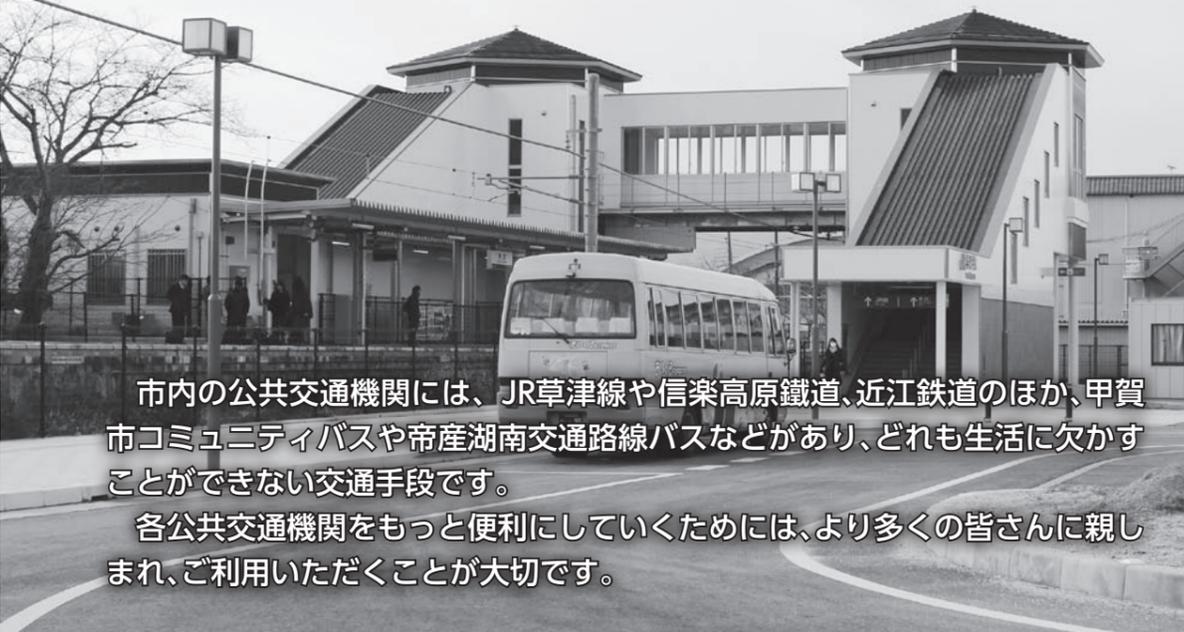
### ■地域で支える

#### — 市民交流駅 —

JR草津線の寺庄駅、甲賀駅、油日駅は、JRから無人駅に指定されているため市が駅舎を設置し、「市民交流駅」として地元住民の皆さんに管理いただいています。

各駅で、守る会などの団体やボランティアの方による清掃活動などが行われ、地域の大切な玄関口として、それぞれの地域の皆さんによって守り育てられています。

そんな「市民交流駅」に愛着を持って活動されている皆さんを紹介いたします。



市内の公共交通機関には、JR草津線や信楽高原鐵道、近江鐵道のほか、甲賀市コミュニティバスや帝産湖南交通路線バスなどがあり、どれも生活に欠かすことができない交通手段です。

各公共交通機関をもっと便利にしていくためには、より多くの皆さんに親しまれ、ご利用いただくことが大切です。

### 油日駅 花と緑で駅に季節感を

山下智恵子さん

油日駅を訪れると、いつも玄関前や待合室にいきいきとした鉢植えなどが飾られています。これは、近所にお住まいの山下さんによって大切に育てられたもので、一年を通して季節に合わせた植物を飾られています。

私は、日頃からよく駅を利用するため、「利用者の方に気持ちよく過ごしてもらいたい」と、平成14年に新しい駅舎が完成したことをきっかけに始めました。

常に美しい状態で見えていただけよう、毎日の手入れや鉢の入れ替えを欠かさずに続けてきました。

駅を利用される方が気付かれて、「もうこの花の季節なんやね」などの声を聞くとき、一番のやりがいを感じます。



される方の喜ぶ顔を思い浮かべながら続けていきたいと思えます。

### 甲賀駅 地域の駅として愛着を持つ

甲賀駅 従業員 大治 義信さん  
おおし よしのぶ  
しいの よしたか  
椎野 義登さん



甲賀駅に平成18年から勤めている大治さん、椎野さんは、「自慢の甲賀駅と、自分の住む地域の駅として愛着と誇りを持ち、日々業務に励んでおられます。

特に、忍術村などを目的として観光に來られる方の中には、海外の方も多いため、自分たちで送迎案内の英語版を作るなどの工夫をし、「お気をつけて」のひと言も添えるようにしています。

駅を利用される方に「ありがとうございました」に加えて「おかえり」など親しみを込めた挨拶をするうち、自然と「ただいまなど元気な挨拶が返ってくるようになったこと」にやりがいを感じています。

## ■駅を守り、育てる会

市内には、駅を守り、地域を活性化させようと、早くから活動されているいわゆる「駅を守る会」がいくつかあります。

その中でも設立後40年が過ぎた「油日駅を守る会」の山下会長にお話を伺いました。

### ○地域が一体となった地道な活動で利用は伸ばせます

油日駅を守る会

会長 山下 孝司さん



### 私たちの油日駅

昭和34年、地域住民の長年の願いであった油日駅が開業されました。しかし、その後、国鉄の合理化に伴い昭和46年に無人駅に指定されました。このままでは駅自体の存続が危ぶまれるため、地域の大切な駅を守っていくこと、直ちに「油日駅を守る会」が発足し、現在、油日学区を中心に約一千戸が参加し、駅舎の自主運営を続けています。

また油日駅は、地域の皆さんによる奉仕活動で、清潔な駅舎や居心地の良い待合室、桜や花のあふれる景観が保たれています。こうしたことから、昔から地元では、「自分たちの駅」とい

う思いが根付いていると感じます。

より多くの方に  
ご利用いただくために

当会では、観光客増加に繋げようと4年前からJRと共同でウォークキングを企画、実行しています。特に、都会から來られた方には野菜収穫体験や地元産米のお土産などが大変喜ばれています。もともとある地域の魅力が注目され始めたこともあり、最近では観光客が年間で4倍程度に増えました。

また、ボランティアとしてウォークキングに参加したことや、多くの観光客が訪れる姿を見かけるようになったことなどをきっかけとして、地元の方も積極的に電車を利用するようになったと聞き、喜んでいきます。

油日駅では、通勤、通学などの乗降客数が減少している中、観光客の増加や地元の方の利用で乗車券の売り上げは伸びています。

今後、地域の方を対象にしたウォークキングや城跡めぐりといった新たな企画も考えています。

私たちの大切な駅に、さらに多くの方が利用されることを願い、今後も活動を続けていきたいと思えます。

## 寺庄駅 いつも利用する駅をピカピカに

昨年3月に新しい駅舎になった寺庄駅では、近くの甲南高等養護学校生の皆さんが毎週1回、1時間ほどかけて駅舎やトイレを丁寧に掃除されています。

家庭科の授業の一環として、また地域との関わりを持つことを目的に昨年からは始められ、現在は2年生15名が交代で取り組んでいます。

掃除にとりかかる前に、駅の汚れを自分たちで確認し、掃除方法を考えて取り組みます。

## ■信楽高原鐵道(SKR)

信楽高原鐵道は、平成3年の列車衝突事故の訴訟が昨年に解決し、現在、JRや県と連携し、一層の安全対策を図るとともに、経営改善にむけて様々な取り組みを行っています。



▶昨年のサンタ列車の様子

毎年恒例の干支切符の発行や、枕木オーナー制度、また、子どもからお年寄りまで楽しめる様々な企画列車を季節に

生徒の一人は「いつも私たちが利用する駅なので、とてもやりがいがあります。」と、階段の間には小さなブラシを使って細かく掃いたり、手順を踏んで効率的に掃除するなどの工夫をされています。



### 甲南高等養護学校

合わせて運行しているほか、JRや地元団体とも連携し、魅力あるハイキングコースの提供もしています。

信楽高原鐵道は、第三セクターとして市が経営に参加している、市民皆さんの交通機関です。「乗って残そう」を合言葉に、皆さんも身近な鉄道としてさらにご利用いただき、いつまでも存続できるようにご支援をお願いします。

### 信楽高原鐵道益梅列車

○とき 2月12日(日)～3月11日(日)

の土・日限定※1日5往復

### ○問い合わせ先

信楽高原鐵道(株)

☎02-43366 ☎02-33323